

第 24 期 pES club シナリオ 3

2025 年 3 月 9 日

聖路加国際大学大学院 看護学研究科

増澤 祐子

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは地域周産期母子医療センターに勤務する 5 年目の助産師です。

今日は 1 歳児を養育する大木 空夢さん (34 歳) の妊娠 12 週 3 日の保健相談を担当します。今日の妊婦健診では胎児心拍は問題なく確認され、血液検査の結果は以下の通りでした。

	単位	妊娠 12 週 3 日
WBC	/ μ L	7200
RBC	/ μ L	402×10^4
Hb	g/dL	11.2
HCT	%	38.0
MCV	fL	94.5
PLT	/ μ L	29×10^4
随時血糖	mg/dL	80

大木さん「2 人目の妊娠がとても嬉しいです。でも 1 人目の時に貧血で、鉄分の多い食事を摂ったりサプリメントを毎日飲んだりするとよいと言われていたのに、仕事が忙しくてできなくて. . . そのせいか、早産になって、生まれたときの体重も 2,480g しかなくて、皮膚も黄色いからと青い光を当てる治療もしたんです。小さく生まれてしまったのは私が貧血を治療しなかったせいだったからじゃないかって、看護師をしている義母に言われてずっと気になっていて. . . 鉄のサプリメントを飲んだら、このお腹の子はもっと大きく産んであげることができるんでしょうか. . . 」

大木さんの前回の妊娠経過を電子カルテで確認すると、妊娠初期の MCV は 93.5 fL、妊娠末期の Hb 値は 10.6 g/dL と軽度の貧血だったことが分かりました。あなたは、日常的に鉄のサプリメントを摂取することで妊娠貧血や早産や児の低出生体重のリスクを下げることができるのか、調べてみることにしました。